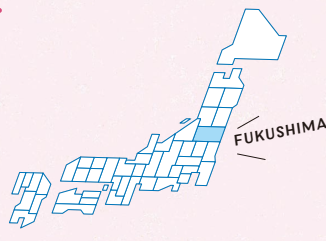




# 第9回 公害資料館 連携フォーラム in 福島



災害を伝え、  
未来をつくる

私たちはなぜ災害の経験を継承しようとするのでしょうか。被害は避けられないものではなく、災害への社会的対応によって、軽減したり回避することもできます。私たちはどのような未来をめざすのか、公害や東日本大震災などの経験から学び、ともに考えたいと思います。

2023  
12/16-17  
土 日

場所

福島大学L講義棟

福島県福島市金谷川1

基調講演

当事者感覚獲得のために  
— 災いの記憶を語り継ぐ  
意義とその伝え方 —



やまうち ひろやす  
山内 宏泰さん  
(リアス・アーク美術館館長)

profile

1971年、宮城県石巻市生まれ/1994年、宮城教育大学中学校美術教員養成課程卒業、同大学院入学(リアス・アーク美術館勤務のため9月中退)。  
1994年10月よりリアス・アーク美術館学芸員(現在:同館館長/気仙沼市在住)  
2013年リアス・アーク美術館「東日本大震災の記録と津波の災害史」常設展示設置、公開(担当)  
1994年頃から美術家として個展、グループ展など多数。また舞台美術家、舞台衣装家として多数の舞台に参加。

受賞歴

- 2004年 7月 平成15年度宮城県芸術選奨新人賞受賞(美術・彫刻)/宮城県
- 2017年11月 平成29年度棚橋賞受賞/日本博物館協会

著書

- 「砂の城」近代文芸社・2008.10/山内ヒロヤス  
※明治三陸大津波を題材とした小説。
- 「東日本大震災の記録と津波の災害史(リアス・アーク美術館常設展示図録)」  
リアス・アーク美術館・2014.3.15/山内宏泰

参加費

● フォーラム参加費

一般:3,000円(資料集あり)

公害資料館ネットワーク会員:2,000円(資料集あり)

学生:無料(申込必要、資料集が必要な場合は別途購入)

● 現地見学(定員20人・申込先着順):5,000円

● 交流会(定員50人・申込先着順):3,000円

スケジュール

12/16  
(土)

- 8:30~14:30 現地見学  
(福島県いわき湯本温泉「古滝屋」出発、  
福島大学帰着)
- 15:00~17:00 開会、基調講演
- 17:30~19:00 交流会

12/17  
(日)

- 9:30~12:00 分科会
- 12:15~13:15 ランチミーティング
- 13:30~15:00 全体会

無料(申込不要)

基調講演のみ  
YouTubeで  
ライブ配信をします



[https://www.youtube.com/  
@kougai\\_nw](https://www.youtube.com/@kougai_nw)

地球環境基金助成事業

主催:公害資料館ネットワーク(代表幹事 西村仁志(広島修道大学))  
第9回公害資料館連携フォーラム in 福島実行委員会(実行委員長 山川充夫(福島大学名誉教授)、副実行委員長 後藤忍(福島大学))  
共催:一般社団法人日本環境教育学会、公益社団法人日本環境教育フォーラム  
後援:福島大学、環境省、福島県、ESD活動支援センター、東北地方ESD活動支援センター、全日本博物館学会、日本アーカイブズ学会、  
日本展示学会、原子力市民委員会、河北新報社、福島民報社、福島民友新聞社  
協力:地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)、東北環境パートナーシップオフィス(EPO東北)、福島県立博物館